

授業科目名 (英文表記)	農業経済学 (Agricultural Economics)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岸上 光克		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月12日(土) 13:00~17:00		
	第2回 7月3日(土) 13:00~17:00		
	第3回 7月17日(土) 13:00~17:00		
【授業のねらい・概要】			
<p>農業の現状と課題について基礎的知識を身につけるとともに、食料需給や農産物貿易等の「農」と「食」をめぐる社会経済問題を経済学的視点から理解する。内容としては、世界の農業と食料問題、農産物貿易の経済理論と農業保護、食料の需要と供給、経済発展と日本農業、日本農業の担い手・農地、農業と資源保全、日本農業と農産物流通、フードシステムと食品安全などとする。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回① オリエンテーション、農業経済学とは何か。 農学における農業経済学の特徴、農業経済学に求められるスキルや知識 [予習] 食料・農業・農村問題に関する情報収集を行うこと [復習] ポストコロナ、ウィズコロナにおける、食料・農業・農村がどのようになるか将来を予測すること</p>			
<p>第1回② 食料・農業・農村をめぐる情勢 最新の食料・農業・農村白書をもとに、農業・農村の過去・現在を確認 [予習] 食料・農業・農村白書について事前に調べておくこと [復習] 授業で習った以外の白書の内容について確認すること</p>			
<p>第2回① 農村活性化における事例分析 6次産業化や農工商連携の現状を把握、農業・農村における特徴的な取り組みを解説 [予習] 農業・農村の活性化に取り組む事例を調べておくこと [復習] 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p>			
<p>第2回② 農協販売事業(直売所)における事例分析 産地を取り巻く環境変化を把握、農協販売事業(直売所)における特徴的な取り組みを解説 [予習] 農協販売事業(直売所)について事前に調べておくこと [復習] 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p>			
<p>第3回① 山間地域における事例分析 山間地域振興に向けた政策とともに、山間地域における特徴的な取り組みを解説 [予習] 山間地域の活性化に取り組む事例を調べておくこと [復習] 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p>			
<p>第3回② まとめ、最終課題の作成と提出 これまでの講義内容を踏まえ、これからの農業・農村について検討 [予習] これまでの授業の内容を整理すること [復習] 最終課題を完成させ、提出すること</p>			
【到達目標】			
<p>食料・農業・農村の過去・現在を把握するとともに、最近の動向を知り、今後のあり方について各自が検討できることを目標としています。具体的には、既存文献や論文、統計データをもとに、現状分析ができること、特徴的(優良)事例を取り上げ、特質することを把握することができること、それらを他者に説明することができることなどがあげられます。</p>			
【成績評価の方法】			
<p>各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。</p>			
【教科書】			
<p>特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。</p>			
【参考書・参考文献】			
<ul style="list-style-type: none"> ・藤田武弘・内藤重之・細野賢治・岸上光克「現代の食料・農業・農村を考える」ミネルヴァ書房(2018) ・農林水産省「食料・農業・農村白書」(各年) <p>この他、授業中に適宜紹介する。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。 受講生の理解度を見ながら、授業の進捗やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。</p>			
【履修をする上で必要な事項】			
<p>特になし</p>			
【授業時間外学習についての指示】			
<p>授業時間外学習(予習・復習)については授業計画を参照のこと。</p> <p>※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要パソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			